

第 37 回 歴史地震研究会 総会資料

日時：2020 年 9 月 28 日（月）

場所：オンライン開催

総 会 次 第

開会

定足数確認、会長挨拶

議長選出

第一号議案 2019 年度事業報告および決算報告

幹事会から 2019 年度事業報告および決算報告を説明し、承認を求めます。

監査役から会計監査報告について説明があります。

第二号議案 会長選出

幹事会に届け出があった立候補者について説明します。会長の選出を求めます。

第三号議案 監査役選出

幹事会に届け出があった推薦について説明します。監査役の選出を求めます。

2020 年度会長挨拶、2020 年度役員指名

第四号議案 2020 年度事業計画および予算案

幹事会から 2020 年度事業計画および予算案を提案し、承認を求めます。

議長解任

閉会

第一号議案 2019年度事業報告および決算報告

1. 2019年度事業報告

2019年度（2019年8月1日～2020年7月31日）は、以下の事業を行った。

(1) 研究成果発表会および講演会

① 歴史地震研究会（徳島大会）の開催

以下の通り、第36回歴史地震研究会（徳島大会）を開催した。

主催：歴史地震研究会

会場：徳島大学地域連携プラザ地域連携大ホール（徳島県徳島市）

日程：2019年9月21日（土）～23日（月・祝）

21日：研究会・公開講演会

22日：研究会・総会・懇親会

23日：研究会・巡検

参加者は会員82名、非会員16名、招待1名の計99名だった。発表数は口頭39件、ポスター18件。懇親会の参加者は70名、巡検参加者は37名だった。

② 歴史地震研究会（伊賀大会）の開催準備

以下の第37回歴史地震研究会（伊賀大会）の開催に向けて準備をした。

主催：歴史地震研究会

会場：ハイトピア伊賀5階多目的大研修室・学習室

日程：2020年9月26日（土）～29日（火）

26日 13:30～16:30：公開講演会

27日 9:30～17:15：研究会，18:00～懇親会

28日 9:30～17:45：研究会・総会

29日：巡検

研究発表会には発表申込みが50件あり口頭38件とポスター12件からなるプログラムを編成した。

(2) 会誌の刊行

2020年7月末に『歴史地震』第35号を発行した。論説13編、資料5編、報告5編、訂正3編、講演要旨46編、研究会記事1編を掲載し、総頁数は315ページであった。

発行部数は450部。発行時の会員（長期会費未納会員を除く）265名および無償送付先（大学・公立図書館等）125箇所を送付した。

(3) 広報活動

迅速な情報提供のため、以下の活動を行った

① 歴史地震研究会ホームページ

新たにFlashを用いないホームページを立ち上げ運用中である。2019年度中の主な更新内容は、

『歴史地震』34号(2019)のPDF版の掲載、『歴史地震』バックナンバー15号16号のPDF版の掲載、総会と幹事会議事録の掲載、第37回歴史地震研究会(伊賀大会)の案内の掲載である。

② 大会申し込みフォームの作成

大会申し込みに関する外部への窓口として、フォームを作成した。

③ 大会の周知

大会への発表募集・会場等の案内や公開シンポジウムについて、日本地震学会・日本活断層学会・日本第四紀学会・日本地質学会・史学会・日本史研究会・地方史研究協議会等へニュースレター・メーリングリスト・ホームページ掲載および掲示を通して告知を行った。

④ メーリングリストの管理

研究会メーリングリストおよび「musha」への登録・更新・不達のチェック、メーリングリスト規約の改正などを行った。

(4) その他

① 総会

2019年9月22日(日)に総会が招集された。総会参加者は58名であった。総会議事録は、ホームページに掲載するとともに、会誌『歴史地震』35号に収録した。

② 幹事会

2019年度は、以下の5回の幹事会を行い、歴史地震研究会の運営・事業について議論した。監査役には幹事会への出席を求め、適切な審議が行えるように努めた。幹事会の議事録をホームページに掲載するとともに、会誌『歴史地震』35号にも収録して会員に審議内容を伝えた。

2019年8月8日(2019年度第1回歴史地震研究会幹事会)

2019年10月18日(2019年度第2回歴史地震研究会幹事会)

2020年1月17日(2019年度第3回歴史地震研究会幹事会)

2020年4月24日(2019年度第4回歴史地震研究会幹事会)

2020年6月4日(2019年度第5回歴史地震研究会幹事会)

2. 2019 年度決算報告

2019 年度（2019 年 8 月 1 日～2020 年 7 月 31 日）の決算は次表のとおり。

歴史地震研究会 2019年度 決算報告

項目		予算額	決算額	増減	内訳
収入	2019年度会費	988,000	984,000	▲ 4,000	4000円×246名
	2018年度以前会費	0	62,000	62,000	4000円×11名,3000円×6名
	2020年度会費	0	88,000	88,000	4000円×22名
	2021年度会費	0	4,000	4,000	4000円×1名
	会誌口絵代・超過頁代	0	118,000	118,000	23000円×5,1500円×2
	会誌・講演要旨バックナンバー代	0	17,110	17,110	会誌11部, 講演要旨1部
	徳島大会剰余金	0	160,511	160,511	
	寄付金	0	10,000	10,000	小磯修一会員
	前年度繰越	2,228,499	2,228,499	0	
	合計	3,216,499	3,672,120	455,621	

支出	2019年度徳島大会関係費	50,000	0	▲ 50,000	剰余金のみ
	2020年度以降大会準備費	50,000	0	▲ 50,000	
	歴史地震35号印刷・発送代	656,000	775,390	119,390	450部, 振込送料440円込
	同編集費	25,000	10,000	▲ 15,000	編集補助謝金
	HP管理費	20,000	21,440	1,440	振込送料220円込
	会議費	200,000	48,492	▲ 151,508	交通費・宿泊費
	功績賞関連費	100,000	55,596	▲ 44,404	振込送料216円込
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	11,567	▲ 18,433	資料送付料・切手代・他
	合計	1,131,000	922,485	▲ 208,515	

次年度繰越金	2,085,499	2,749,635	664,136	
--------	-----------	-----------	---------	--

第二号議案 会長選出

歴史地震研究会会則第 18 条第 2 項に基づき、幹事会の推薦を得て、現会長である松浦律子氏から歴史地震研究会会長に立候補の届け出があった。

第三号議案 監査役選出

歴史地震研究会会則第 18 条第 4 項に基づき、幹事会として現監査役である中村操氏および植竹富一氏を次期の監査役に推薦するとの届け出があった。

第四号議案 2020 年度事業計画および予算案

1. 2020 年度事業計画案

2020 年度（2020 年 8 月 1 日～2021 年 7 月 31 日）は、以下の事業を行う計画である。

(1) 研究成果発表会および講演会

① 第37回歴史地震研究会（伊賀大会）の開催

第37回歴史地震研究会（伊賀大会）を伊賀市において開催予定であったが、感染症拡大のため、公開講演会、懇親会、巡検を中止し、研究発表会と総会をオンラインで実施。

② 第 38 回歴史地震研究会の開催準備

以下の要領で第 37 回歴史地震研究会を開催するために必要な準備を行う。

会場：北海道苫小牧市 苫小牧文化交流センター（アイビー・プラザ）（予定）

日程：2021 年 9 月 2 日（木）～5 日（日）（予定）

公開講演会、研究発表会、懇親会、総会、巡検

③ 第 39 回歴史地震研究会の開催準備

第 39 回歴史地震研究会を開催するための候補地選定および日程調整などの準備を行う。

(2) 会誌の刊行

会誌『歴史地震』第 36 号を 2021 年 7 月末頃に発行する。第 37 回歴史地震研究会での発表に基づく論文を中心に募集するが、第 36 回以前の歴史地震研究会での発表に基づく論文や、未発表原稿についても募集を行う。編集作業は会誌編集規定に沿って行う。冊子版は高解像度モノクロで印刷することを基本とするので、投稿者はこのことを意識して投稿願いたい。冊子版に高解像度のカラー図を載せたい場合は口絵として掲載する。ただし著者負担による費用が別途発生する。また、ウェブ版はカラーでの掲載が可能であるが解像度を 150 dpi に落とし、基本的に出版日から半年程度経ってから研究会のホームページにて閲覧可能となる。『歴史地震』第 36 号の原稿の締め切り日は 2020 年 11 月 30 日（月）である。研究会のホームページに原稿のひな形（標準形式）が公開されているのでそれに従い原稿を作成し、同じくホームページ上にある投稿シートに記入の上、期日までに原稿と投稿シートを histeq@histeq.jp まで送付願いたい。

(3) 広報活動

迅速な情報提供のため、歴史地震研究会ホームページと連絡用メーリングリストの運営・管理を行う。また、メーリングリスト [musha](#) についても運営・管理を行う。

(4) 歴史地震研究に関する業績の表彰

歴史地震研究会功績賞の授賞対象者の選考を検討する。

(5) その他

上述の各項に関して、適切な審議を行うため、2020 年 9 月 28 日（月）の総会および監査役を招いた年間 5 回程度の幹事会を開催する。

2. 2020 年度予算案

2020 年度（2020 年 8 月 1 日～2021 年 7 月 31 日）の予算案は次表のとおり。

歴史地震研究会 2020年度 予算案

項目		金額	内訳
収入	2020年度会費	948,000	4000円×237名(260名-23名)
	前年度繰越	2,749,635	
	合計	3,697,635	
支出	2020年度伊賀ネット大会関係費	50,000	
	次年度以降大会準備費	50,000	
	歴史地震36号印刷・発送代	765,000	1700円×450部
	同編集費	25,000	査読料, 編集補助謝金等
	HP管理費	20,000	
	会議費	200,000	
	功績賞関連費	100,000	
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	
	合計	1,240,000	
次年度繰越金		2,457,635	

説明資料

(1) 2019 年度会計監査報告書

歴史地震研究会
会長松浦律子様

2019年度会計監査報告書

歴史地震研究会2019年度収支決算報告の監査を行い、予算の執行、帳簿、証票の整理等、正常適正に処理されていることを確認いたしました。 ここにご報告いたします。

以上

2020年 8月 4日

中村 操  会計監査

植竹 富一  会計監査

(2) 会員の現況及び会費受取状況

昨年の総会で報告された会員数 266 名に対し、2019 年度には以下に示す新規入会者 13 名、退会者 5 名及び休会者 1 名があった。さらに 2019 年度会費の滞納によって 2020 年度の会員特典を停止された 16 名を減じ、2019 年度の会員特典停止からの復活 3 名を加えて、2019 年度末の会員数は 260 名となった。

また 2019 年度会費は 265 名からの受取があり、これは 2019 年度末に会費納入義務のある会員 282 名（2018 年度末会員 266 名＋入会者 13 名＋復活 3 名）の約 94%に相当する。

会員の現況

2018年度末会員数	266名
2019年度末会員数	260名
増減	-6名

会員数増減の内訳

■新規入会者：13名

松井敬代	木下泰葉	佐藤和郎	細田博子	岡崎佑也
森川 淳	原田和彦	森田祐介	前田正明	上田貴和子
楠本 聡	馬場道人	高津俊英	(敬称略, 入会順)	

■退会者：5名

上田 誠	竹内正夫	中村亮一	伊野忠昭	高岡一章
(敬称略, 退会順)				

■休会者：1名

野越三雄 (敬称略)

■2019年度会費滞納につき2020年度会員特典停止：16名

■2018年度会費納入につき2019年度会員特典復活：3名

会費受取状況

2019年度会費	265名 (会員282名の94%)
2020年度会費	23名
2021年度会費	1名
2019年度会費未納	17名 (うち1名は逝去)

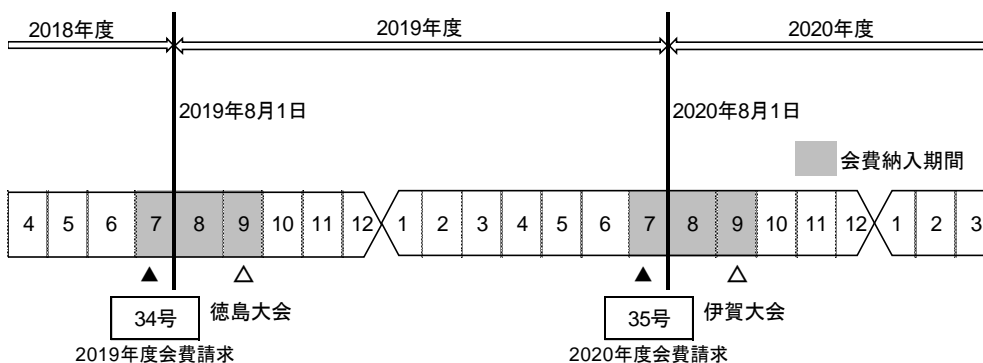


図1 歴史地震研究会の会計年度と年会費の納入期間

(3) 2019年徳島大会の収支報告

2019年徳島大会（2019年9月21日～23日）の収支概要を次表に示す。

2019年徳島大会収支報告

項目		金額	内訳
収入	参加費(会員・他)	168,000	2000円×84名, 会員・LOC・学生
	同上(非会員)	56,000	4000円×14名
	懇親会会費(一般)	325,000	5000円×65名
	同上(学生)	5,000	2500円×2名
	巡検参加費	148,000	4000円×37名
	徳島県観光協会助成金	300,000	
	合計	1,002,000	
支出	大会会場費	131,112	徳島大地域連携大ホール(振込送料432円込)
	大会会場駐車場代	6,696	阿波踊り連員用(振込送料216円込)
	予稿集印刷費	64,432	100部(振込送料432円込)
	懇親会費	272,632	3500円×60名+飲物代(振込送料432円込)
	阿波踊り出演料	100,432	阿波おどりうずき連(振込送料432円込)
	公開講演会講師謝金	20,000	牟岐町防災サークル, 美波町立由岐小学校
	巡検代金	144,930	交通費・昼食代・保険料
	人形浄瑠璃観劇料	15,420	松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館
	巡検ガイド謝金	20,000	同上
	アルバイト代	60,000	10000円×3日+10000円×1.5日×2人
	文具代	2,909	公開講演会チラシ用紙
	雑費	2,926	控室用ジュース・お菓子
合計	841,489		
収支差額		160,511	剰余金